

地域学習を取り入れた総合的な学習の時間

～第1学年「ふるさと赤城」の実践を通して～

渋川市立赤城南中学校 品川 なつみ

1 はじめに

総合的な学習の時間について、中学校では平成30年度より新学習指導要領が先行実施となっている。本校でも改訂の趣旨に基づき、探究的な学習の過程を一層重視し、実社会・実生活の中で活用できる資質・能力の育成に向けた総合的な学習の時間の改善・充実に努めている。

本校は渋川市の北東、旧赤城村に位置しており全校生徒105名の比較的小規模の学校である。生徒の実態は、素直で、地域行事にも多くの生徒が積極的に参加している。課題に対して個々に情報を収集したり、まとめたりする活動に主体的に取り組む生徒が多い一方、情報を分析する力や自分の考えを周囲に伝えたり、友達と話し合っって課題を解決したりすることを苦手とする傾向もみられる。探究のプロセスの中では「整理・分析」「まとめ・表現」への取組が課題である。

2 本校の総合的な学習の時間

本校では、総合的な学習の時間の目指す生徒像を「自己や他者、社会に関する理解を深めながら、周囲との関わりを大切に自らの生き方を切り開いていく生徒」「学んだことを活用して課題を解決するなど、社会をより良く生きるために必要な資質や能力を身に付ける生徒」としている。各学年の指導の重点として第1学年では「目的を明確にして主体的に課題を設定し、協働して計画的に課題追求や発表に取り組むことができるようにする」、第2学年では「周囲の人々との関係や職業などに関する考えを深め、それらを相手への伝わり方を意識してまとめ、発表できるようにする」、第3学年では「自らの生き方に関する考えを深め、課題の内容や追求・発表の方法を工夫して充実した提言ができるようにする」としている。

地域学習としては、第1学年「ふるさと赤城」において郷土の文化について調査し、自分の抱いた課題を追求することによって理解を深める学習を行う。そして第2学年「東京班別学習」では、調査対象を“日本の首都”東京へと広げ、さらに第3学年「修学旅行」では世界文化遺産があふれる“古の都”奈良・京都へと視野を広げ、連続的かつ発展的に探究活動を行っていく。

テーマ	第1学年	第2学年	第3学年
単元と主な活動	○高原学校 ○ふるさと赤城 (1)テーマ別地域研究 (2)赤城歴史学習 (3)上三原田歌舞伎舞台 ○職業調べ	○職場体験学習 ○東京班別学習 ○高校調べ	○修学旅行 ○福祉について知ろう ○進路学習
行事・体験学習 総合に関わる	○榛名高原学校	○職場体験学習 ○東京班別学習 ○先輩の話を聴く会 ○立志式	○修学旅行 ○高齢者疑似体験 ○アイマスク体験 ○手話教室

3 第1学年「ふるさと赤城」の具体的実践例

全20時間計画

学習活動	教師の支援	学習段階
<p>(1) テーマ別地域研究</p> <p>①学習の目的を知り、自然や歴史、文化、産業などの課題領域に関する知識を得る。</p> <p>②課題領域に関する知識を得て、自己課題を探る。</p>	<p>・オリエンテーションを通して、何を学習するのか、目的意識をもって取り組めるように単元の見通しをもたせる。</p> <p>・マッピングを通して、赤城について考えを深める。</p>	<p>課題の設定</p>
<p>③自己課題を決定し、探求計画を立てる。</p> <p>④夏休み中の調査や体験活動の計画を立てる。</p>	<p>・テーマを選んだ理由や、調べ学習の目的を決めさせて、夏休み中の調査に目的意識をもたせる。</p>	<p>課題の決定</p>
<p>⑤夏休み中に調査をする。</p> <p>⑥夏休み中の調査や体験活動結果をレポートにまとめ、相互評価する。</p> <p>⑦課題を探求する。</p>	<p>・7～8人のグループに分け、班の人の発表に対してコメントを書かせることで、次に行う調査や調べ学習、発表をよりよくする。</p>	<p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p>
<p>⑧テーマを決定する。</p>		<p>課題の設定</p>
<p>⑨グループに分かれて調査を行う。</p>	<p>・グループ内で調べることを分担させ、調査させる。</p>	<p>情報の収集</p>
<p>⑩探求活動の成果をレポートにまとめる。</p>		<p>整理・分析</p>
<p>⑪発表会に向けたプレゼンテーションの計画を立てる。</p> <p>⑫ポスターづくり</p> <p>⑬発表</p>	<p>・前回の発表の反省を生かして、ポスターのレイアウト等を考えさせる。</p>	<p>まとめ発表</p>

ふるさと赤城 夏休みレポート

～ 赤城町のイイトコ再発見の旅 ～
1年 A組 氏名



1. 題名(テーマ)

昔の赤城

2. テーマを選んだ理由、この調べ学習の目的

昔の赤城についてと"のような地形になっていったのか、昔の地名はどんな名前だったか、どんな暮らしをしていたかなど、昔のことについて知りたいことがたくさんあったから。

3. 研究計画・方法

インターネット

4. 調べた内容・体験したこと等(わかったこと)

赤城山の名前の由来 (伝説・伝承)
日光市・男体山の北西麓の単支場ケ原には、男体山の神と赤城山の神がそれぞれ大蛇と大ムカデになって戦い、男体山の神が勝利をおさめたという伝説がある。赤城の北にある老神温泉の地名は、このとき落ちたひた神が追われてわけてきたことに由来するといわれ、「アサギ」という山名を神が流した血で赤く染まったことから赤きが染めたという言葉もある。単支場ケ原で負けた赤城山の神は老神温泉で傷を癒した後に男体山の神を追い返したという。
また、開湯伝説では、赤城山の神が大蛇・男体山の神がムカデとなっており、大蛇が月を舐めたという説になっている。
江戸川沿いにある宇都宮県赤城郡赤城町の赤城神社の赤城山が、天孫降臨の際に赤城山の山頂の一本松が落ちてきたものだといふ伝説がある。赤城山という地名はこれに由来するといふ。

〈夏休み中の調査のレポート〉



〈授業参観でのポスターセッションの様子〉

ありか	宝	郁哉	真登	徳悟	瑞里を	高方太	名前	課題設定	調べ方	内容の確かさ	内容	図表	コメント
A	A	A	A	A	A	A	課題設定	課題設定	調べ方	内容の確かさ	内容	図表	コメント
A	A	A	A	A	A	A	課題設定	調べ方	内容の確かさ	内容	図表	コメント	
A	A	A	A	A	A	A	課題設定	調べ方	内容の確かさ	内容	図表	コメント	
A	A	A	A	A	A	A	課題設定	調べ方	内容の確かさ	内容	図表	コメント	
C	C	B	B	B	C	B	課題設定	調べ方	内容の確かさ	内容	図表	コメント	

① 自由評価 (A B C)
② 数値を使えるところ、図や写真などを使って具体的にしました。
③ 工本したところ、頑張ったところ

〈夏休みの調査レポートのグループ内評価〉

(2) 赤城歴史学習		
① 教頭先生の講義を受け、地域の歴史に関する知識を得る。	・ 地域に残る文化財を紹介し、赤城の歴史について興味を持たせる。	課題の設定
② 赤城歴史資料館の見学	・ 館長さんの説明を聞いた後に、自分の興味があるところを見学させ、調査の発表に生かす。	情報の収集
③ 探求活動の成果をレポートにまとめる	・ テーマ別地域学習の全体の発表につなげる。	整理・分析 まとめ



〈館長さんの説明〉



〈展示されている土器〉

<p>(3) 上三原田歌舞伎舞台</p> <p>①学習の目的を知り、課題領域に関する知識を得て、自己課題を探る。</p>	<p>・赤城町の良さを話し合う中で出てくる上三原田歌舞伎舞台を取り上げて学習することを伝える。</p>	<p>課題の設定</p>
<p>②上三原田歌舞伎舞台が継承されてきた意味を、話し合いを通して考える。</p> <p>③赤城の代表とも言える歌舞伎舞台について講義を受けて知識を得る。</p> <p>④歌舞伎舞台を作る際の縄の結び方を教えていただき、実践する。</p>	<p>・自分たちの住む赤城の良さを、話し合いを通して見つけさせる。</p> <p>・歌舞伎舞台の伝承委員の方に舞台構造の特徴と技術を教えていただき、地域の素晴らしい文化を継承していこうとする生徒を育てる。</p>	<p>情報の収集</p>
<p>⑤学習の成果をレポートにまとめる</p>	<p>・テーマ別地域学習の全体の発表につなげる。</p>	<p>整理・分析 まとめ</p>



〈歌舞伎についての講義〉



〈伝統的な縄の結び方の体験〉

4 おわりに ～第1学年「ふるさと赤城」の成果と課題について～

〈成果〉

- 赤城町の歴史や、世界的にも素晴らしい文化があることなどを知ることによって、生徒が郷土の良さを見いだすことができ、ふるさとを大切にしたい気持ちや尊敬する気持ちが生まれた。
- 地域の伝統文化に携わっている様々な方からお話を聞いたことで、生徒が歴史や文化が残っているのはそれを守ってきた人たちの存在のおかげであるということに気づき、自らも歴史や文化の継承に携わりたいと考える気持ちが芽生えた。
- 自分たちで調べたことやクラスメイトが調べたことで赤城町の素晴らしさに気づき、ふるさとに誇りを持てるようになった。
- 授業参観でのポスターセッション後、保護者も交えて付箋紙を用いて評価をしたことで、生徒の励みになった。

〈課題〉

- グループのテーマ設定によっては内容が薄くなってしまったので、テーマ設定をしっかりとる必要があった。
- ポスターセッションで、発表の練習があまりできなかったために、聴き手に伝わりにくい発表になってしまった班があった。